

授業科目名	観光資源実習	担当教員	塩川 太郎 高橋 加織			
必修の区分	選択					
単位数	1 単位					
授業の方法	実習					
開講年次	1年第2クオーター					
講義内容	但馬地域は海と山に囲まれ、自然の観光資源が充実している。本授業では、海の観光資源としてスノーケリング体験施設（海コース）、山の観光資源としてスキー場（夏場はキャンプ場として利用）（山コース）にて実習を行う。但馬地域の自然を利用した観光レジャーを体験するとともに施設の業務に従事することで観光資源の知識及び施設の運営ノウハウやホスピタリティ力を修得する。					
到達目標	実習をもとに但馬地域の観光資源の魅力について具体的に述べることができる。実習先の海や山の自然環境に関する知識を身に付けると同時にそれらを活かした観光振興について考えることができるようになる。					
授業計画	1. 「コース選定」海コース、山コースのどちらか一つのコースを選択する。 (提携先の事情によりコースは希望に添えないこともある) 2. 「事前講習」実習する施設の基本情報や注意事項など 3. 「実習計画書作成」実習計画書を作成し、学習ポイントを確認する 4. 「実習」 A)但馬の海コース 実習施設：竹野スノーケルセンター等 1日目：オリエンテーション、目標設定、基礎訓練、レジャーワーク 2～4日目：実習 スノーケル、カヌー、磯観察の体験プログラム及び施設運営等 5日目：目標達成状況等報告、施設長との意見交換 B)但馬の山コース 実習施設：県内キャンプ場施設、コウノトリの郷公園等 1日目：オリエンテーション、目標設定、基礎訓練、レジャーワーク 2～4日目：実習 キャンプ場、サマーゲレンデ、自然体験プログラム及び施設運営等 5日目：目標達成状況等報告、施設長との意見交換 5. 「完了報告書作成・報告会」 完了報告書を作成し、報告会にて今後の観光振興について意見を述べる					
事前・事後学習	事前：実習施設等を調査し、実習計画を作成する。 事後：完了報告書を作成し、報告会を行う。					
テキスト	なし					
参考文献	なし					
成績評価の基準	レポート（完了報告書等）（50%）、実習態度（50%）					

履修上の注意 履修要件	病気や怪我等がある学生は履修前に担当教員に相談し、参加可能であるか確認すること。海コースでは一部水中・水上での活動を伴うことがある。
実践的教育	学外の臨地実務実習先の実習指導者から、実践的な指導を受けながら実習することから、実践的教育に該当する。
備考欄	提携先の都合により、実習地等は変更になる場合がある。また参加希望者が多い場合は事前に抽選を行う。詳細は担当教員に問い合わせること。